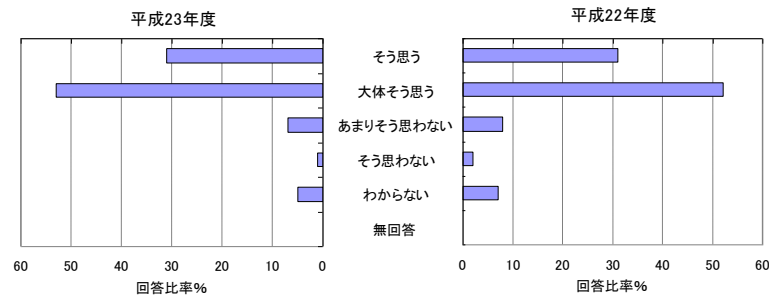




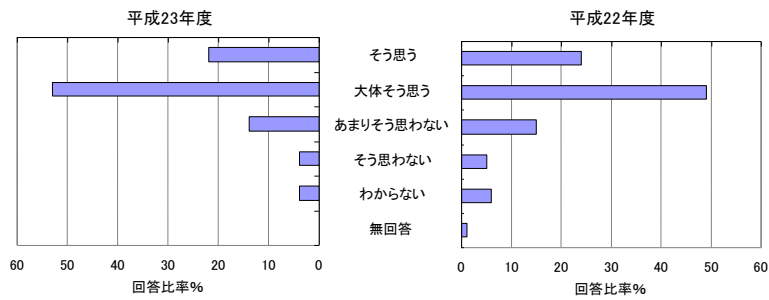
今年度のキーワードは「家庭力アツフ！」

学 力 向 上

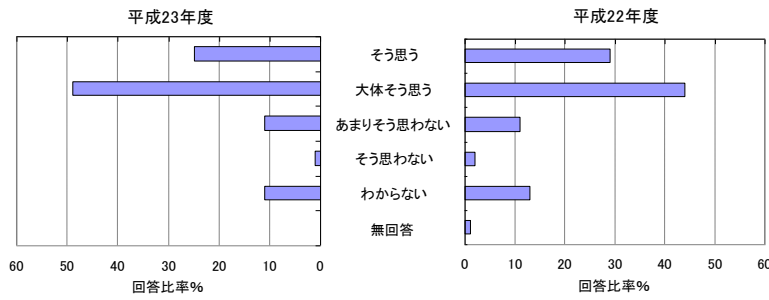
【設問】学校は、算数・数学の少人数習熟度別指導や英語の少人数指導など、授業を工夫して学力向上の取り組みをしている。



【設問】子供は、授業が分かりやすいと言っている。



【設問】コミュニティスクール委員会は、専門家や地域人材を連携し、多彩な教育活動を支援している。



Point!! 家庭の励ましが大きな力に

授業が「わからない」と言っている児童生徒に対して、わかりやすい授業に改善するための研究授業等が一層求められます。具体的な学力向上の取り組みとしては、小学校の年間を通じたアップタイムの取り組みや、中学校の補習授業について、量・質ともに一層の充実を期待します。また、ひたすらわかってと頑張っている子供に対し、家庭の励ましと学校への協力も大きな力になると思います。



英語研究授業



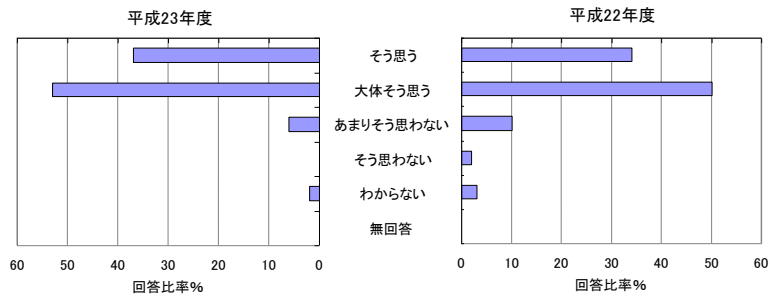
英語乗入れ授業



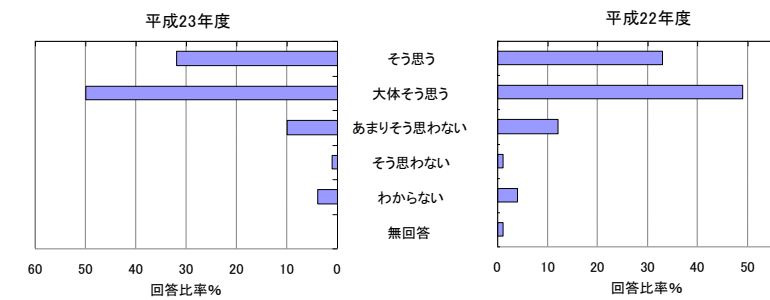
中学校数学乗入れ授業

健 全 育 成

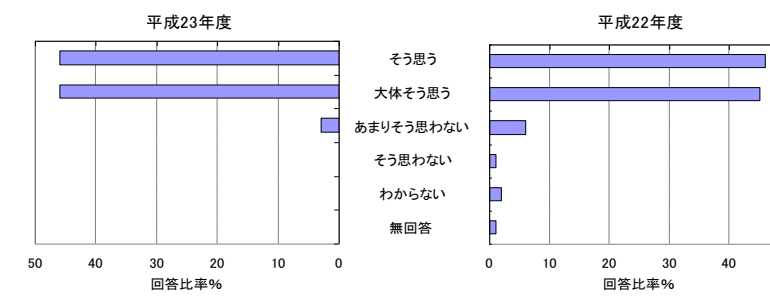
【設問】学校は生活指導やあいさつ運動などの自主的な活動を通して社会での決まりやマナーを身につけさせる取り組みをしている。



【設問】学校は小・小や小・中の交流活動、地域でのボランティア活動、人に役立つ活動を体験させている。



【設問】コミュニティスクール委員会は花いっぱい運動、あいさつ運動、漢字検定など子供たちのための活動や行事を展開している。



Point!! 親が子供と一緒に成長していく

「健全育成」の原点は「家庭教育」にあると思います。また「家庭教育」が、学校という「集団」や「小社会」の中でのコミュニケーションの基盤となっていくとも思われます。PTA が主となって、学校や地域と連携をとりコミュニケーションの拡充を図っていくことや、親が学習する機会を持ち子供と一緒に成長していくことが今後求められているように感じま



花いっぱい運動



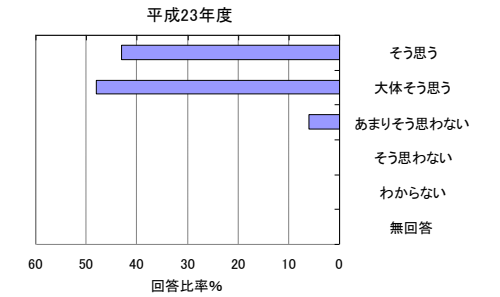
園児学校案内



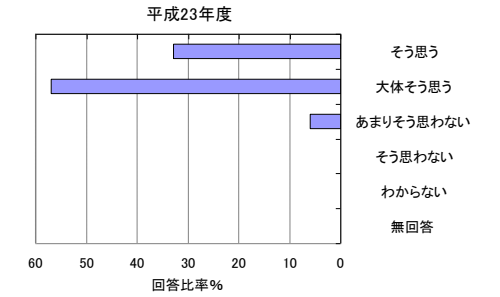
地域清掃

家 庭 に つ い て

【設問】家庭では困っている人の手助けをしたり、人の役に立ったりするよう教えている。



【設問】家庭では、子供の話をよく聞き、対話する時間を作るように心がけている。



Point!! 親として子供とどう向き合うか

「健全育成」のためには「家庭力」が不可欠と考え、今年度のアンケートは家庭への設問を増やしました。学園・学校以上に家庭での取り組みは積極的であるとの評価であり、好数値を示しています。

次年度は「学力向上」「健全育成」のための取り組みをさらに充実させ、その活動を支えるために、「親として子供とどう向き合うか」を考え実践していくことが課題とします。

三鷹の森学園の取材を通して出会った数々の表情。

例えば、「生き生きと小学校で乗入れ授業を行う中学校の先生」「乗入れ授業中に顔見知りの小学校の先生にそっと質問する中学生」「より身近に感じる隣の小学校」「憧れの先輩、三中生」「園児にやさしく接する小学生」「元気よく地域ボランティアに飛び出す子供たち」・・・。

そんな先生、児童・生徒の眩しい笑顔と出会うたびに、「よし、がんばろう！」と力が湧いてきます。みなさんもたくさん学校に足を運んで下さい。そして感じたことをアンケートに記入して下さい。よりよい地域にするために、よりよい学校を作っていきましょう。母校を愛する子供たちが地域に帰ってくるその日まで。